

事業所名

放課後等デイサービス ひかりのいわ

支援プログラム

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		全員が笑顔になれるような支援体制づくりと、安心・安全の場所づくりを行い、質の高いサービスを提供できるように目指します。						
支援方針		5領域に即した支援を行い、本人の自立を高めて卒業後の進路に合わせて支援をしていきます。学年別支援により、学齢期ごとの課題に取り組みつつ、自由時間を通じて「自立した時間の使い方」の獲得を目指します。						
営業時間		10時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
対象児		単位1（小学1年生～4年生）		単位2（小学5年生～中学2年生）		単位3（中学3年生～高校3年生）		
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。		睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL(金銭や時間管理、公共交通機関の利用)の視点も重視します。二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようサポートします。		健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL(金銭や時間管理、公共交通機関の利用)の視点も重視します。学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようサポートします。		
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。		子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。		感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。（作業療士の指導あり）		
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します）		読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します）		積み上げた土台を活かし、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します）		
	言語コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。		視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。		指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。		
	人間関係社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。		ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。		言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。		
家族支援		家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や自宅訪問を通じて課題を共有し、家庭で実践しやすいホームプログラムを提案します。加えて、日々の取り組みを支える相談援助を行い、家庭全体で連携しやすいサポート体制を整えます。			移行支援		学校の先生や他施設に対し、子どものアセスメント結果や個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。	
地域支援・地域連携		・地域のイベントへ参加 ・各種関係機関(学校、相談員、児童相談所)との連携を図る			職員の質の向上		・事業所内研修会 ・外部研修会への参加 ・随時スタッフの悩み相談のサポート体制 ・カンファレンス	
主な行事等		・外出訓練、避難訓練 ・保護者向けサロン&研修会（28cafe） ・保護者参加型イベント						